

令和7年度のグランドデザインについて

最上部 学校教育目標 「共に学び 共に育ち 共に夢をつかむ」

本校に関わる全ての人たち（子ども達・保護者・教職員・地域の方々・関係機関の方々等）が一緒に学び、一緒に育ち、一緒に充実した時間を過ごしながら、みんなで豊かな将来に向かって進んでいく。また、かけがえのない存在である一人一人の多様な生き方や価値観をお互いに大切にしながら教育活動を進めていく。そんな学校を目指している。

左上 シンボル「みをつくし」

学校名や校章にもなっている「みをつくし」。学校教育目標を「みをつくし」というシンボルで表した。

「みをつくし」は船の進む航路を指し示すもので、旧細江町のシンボルである。学校が地域に根付き、子供たちが自らこの「みをつくし」（学校教育目標）に進むことができるように願っている。

左 12年間の積み重ねを大切にした教育活動

小学部では、たくさんの楽しい経験を重ねて「夢」（今の充実、明日への希望や意欲、将来やりたいこと・なりたい姿）の種をたくさんまく段階。中学部は、小学部でまいた「夢」の種を自分らしく芽吹かせる段階。高等部は、小学部と中学部で大切に育ててきた「夢」の花を大きく咲かせる段階。

12年間の教育活動を積み重ねていくことで、「みをつくし」に向けて、子供達が自ら成長していったほしいと願っている。

右 令和7年度学校経営計画について

学校は、「みをつくし」に向かう大きな船である。その船には、本校に関わる全ての人たちが乗っている。

「みをつくし」を目指す旅の途中では、一人一人のウェルビーイング（個人が身体的・精神的・社会的に満たされ、豊かさを感じる状態）と、船全体のウェルビーイング（学校という場が、個人にとって幸せや豊かさを感じられる良い状態）の両方を実現していくことを大切にしていく。

学校という船を動かす原動力となるのは、大きな三つの帆（3つの柱「学び・育ち」「安全・安心」「つながる」）である。この3つの帆に関連する7つの取組目標を確実に達成していくことで、船は「みをつくし」に向かって力強く進んでいく。